今後の感染拡大(第6波)に向けて今しなければならないこと

東京都医師会定例記者会見 (2021年10月12日) 副会長 角田 徹

次なる感染の波に備えて

• 医療提供体制

- 日常の感染予防 ワクチン接種の徹底・標準的な感染予防の継続・人が集まる際の迅速検査<u>(東京コロナパス等)</u>の 活用
- 地域の検査体制広く検査が受けられる体制(セルフ検査キット市販化等)陽性疑い例は確実に医療機関受診(確定診断)につなげる
 - PCR検査等可能な医療機関(診療・検査医療機関数3,950)の拡充・周知(見える)化、アクセスしやすさの向上
- ・陽性者のフォロー体制 迅速な発生届提出後所轄**保健所と地域かかりつけ医等が連携**して健康観察、必要なら宿泊施設への 誘導・臨時医療施設への搬送や入院等の措置
 - 自宅療養でのかかりつけ医等による健康観察・治療、"仮想待合室"制度を用いた"地域主治医のいない陽性者"への対応、抗体カクテル療法・酸素療法可能な**臨時医療施設の充実**、**専用病床の実効的な運用**、重症者用病床の体勢確保

ワクチン接種と個人における感染蔓延予防

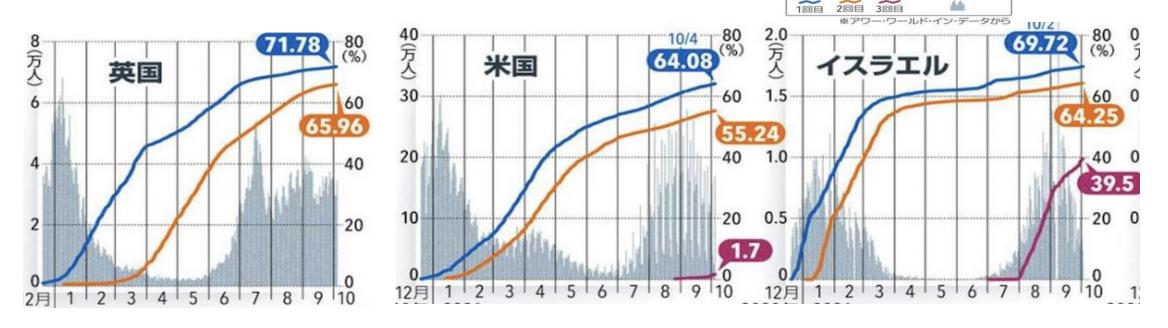
1、ワクチン接種の徹底:10/10時点で都内全人口の62.4%、65歳以上の88.4%が2回接種完了 感染予防と重症化予防の効果はとても高い



3回目接種:2回目終了後8ヶ月以上経過してから(高齢者であれば概ね2022年2月以降)の予定。 まず**2回のワクチン接種の徹底**を 3

ワクチン接種と個人における感染蔓延予防

2、ワクチン接種が完了しても個人における感染予防の継続を接種率の高い諸外国でも、感染予防を全面解除すると感染者数が増加している (以下は東京新聞10/9より)



重症化予防効果は明らかだが新規感染者数は再び増加

⇒ ワクチン接種後の状況下でも

不織布マスクの着用、手洗い、換気、三密回避の継続は重要

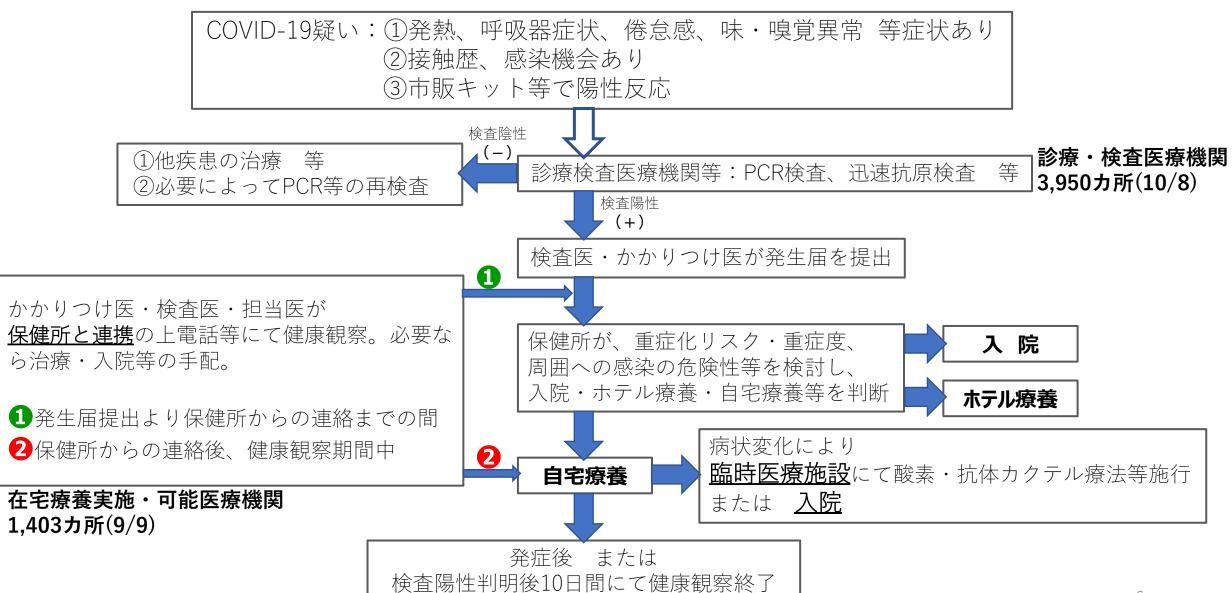
コロナワクチン追加(3回目)接種の予定

2回目接種終了者数と追加接種開始の時期

2回目接種終了から8か月以上後に、全員が追加接種を受けられると仮定。 (すなわち、2月から先行接種開始した医療従事者等は12月から追加接種が始まる。)

ワクチン		回目接種時期 6加接種開始時期)	R3.3月,4月 (R3.12月)	R3.5月 (R4.1月)	R3.6月 (R4.2月)	R3.7月 (R4.3月)	R3.8月 (R4.4月)	合計
ファイザ	医療従事者等	(約571万人)	104	200	182	8 4	_	571
	高齢者	(約3046万人)		6 1	1, 147	1,540	299	3,046
	その他一般住民	(約1518万人)		4 3	6 2	366	1,047	1, 518
武田/モデルナ	医療従事者等	(約5万人)			o	5	_	5
	高齢者	(約84万人)			8	6 8	9	8 4
	一般住民(大規模)	(約594万人)				131	462	5 9 4
	一般住民(職域)	(約580万人)				145 ※VRS重複あり	434 ※VRS重複あり	580 ※VRS重複 (331万人分) あり
A Z	一般住民						0	0 単位・万人)

[COVID-19に対する地域医療機関での対応]



想定される抗原定性検査セルフチェック(案)

薬局で抗原定性検査キットを購入(適切・丁寧な説明)

* イベントや集会等での 東京コロナパスによる検査 での結果

動務先など *産業医に相談

自宅など

薬局

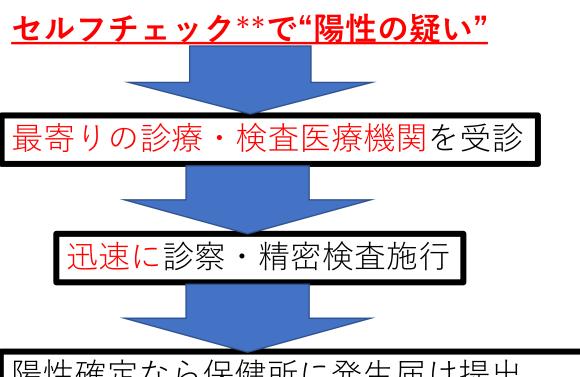
*かかりつけ医に相談

*薬剤師に相談

- * "東京コロナ検査マップ***"・"東京都HP"や "発熱相談センター"で検索し電話・ネット予約 (以下検討中)
- ① 問診票・保険証情報を予め送信*
- ② カルテを事前作成* (カルテ事前作成で受付での待機時間短縮)

(注)

- *可能な場合
- **明らかな自覚症状があれば速やかに医療機関受診
- ***都が準備中、本日公開予定
- ****抗体カクテル療法・ステロイド等



陽性確定なら保健所に発生届け提出 適切な早期対応(治療****や入院など)

PCR検査等可能な医療機関(診療・検査医療機関)のマッピング 周辺地図と連絡先等の情報提示



https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/corona_portal/soudan/hatsunetsugairai.html